Alter+ Home Style.
オルタプラス

デジタル2.4GHz帯
無線カメラ&モニター
AT-2510MCS

取扱説明書

このたびは、AT-2510MCSをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
製品を、安全に正しくお使い頂くため本書をよくお読みになり十分にご理解の上使用して下さい。
本書は、保証書付ですので大切に保管し、必要なときにお読みください。

お客様へのお願い

配線・取付け前に必ず
映像と電波状況の確認をしましょう！

設置後のトラブルをなくすためにパッケージを開封後、取扱説明書を参照の上はじめに無線映像の確認と電波受信の確認を行いましょう。その後、カメラの設置場所とモニター場所（受信機側）にそれぞれ製品を仮設置した状態で再び映像と電波受信の状況を確認してください。設置予定の場所で映像確認が出来た後、配線・取付けを行うことをオススメ致します。

株式会社 キャロットシステムズ

目次

1.安全上のご注意・・・・・・Ｐ４.５

2.主な特長・・・・・・・・・・Ｐ６

3.パッケージ内容・・・・・・Ｐ６

4.製品仕様・・・・・・・・・・Ｐ７

5.外形寸法図・・・・・・・・・Ｐ８

6.各部の名称・・・・・・・・・Ｐ９

7.ご使用になる前に・・・・・P10.11

8.カメラと受信機の設置

8-1カメラと受信機の接続・・・P12.13
8-2カメラの取付け方・・・・・P14.15
8-3モニターの設置方法・・・・P16

9.画面の見方と操作方法

9-1画面の見方 ・・・・・・・・・・P18
9-2電波レベル表示 ・・・・・・・・P19.20
9-3拡大表示をする(デジタルズーム)・P21
9-4音量の調整・・・・・・・・ ・・P22
9-5モニターの明るさ設定 ・・・・P23
9-6映像の外部出力 ・・・・・・・P24
9-7省電力設定(スリープ) ・・・・・P25
9-8画面のちらつき対策 ・・・・・P26
9-9工場出荷時の設定に戻す ・・・P27

10.カメラの台数を増やして使う

10-1カメラを増設するには？・・・P28
10-2カメラの追加(ペアリング)・・P29.30
10-3カメラチャンネルを切替える・P31
10-4カメラ表示のＯＮ/ＯＦＦ・・・P32
10-5自動スイッチャー機能・・・・P33
10-6４分割表示・・・・・・・・・P34

11.付属ＰＣソフトについて

11-1付属のＰＣソフトについて・・P35
11-2できる事とできない事・・・・P35
11-3推奨動作環境・・・・・・・・P36
11-4ソフトウェアのインストール・P37
11-5パソコンとモニターの接続・・P42

12.付属ＰＣソフトの使い方

12-1ソフトの起動 ・・・・・・・・P43
12-2製品の登録(シリアル登録)・・P43
12-3操作画面の見方・・・・・・・P45
12-4録画設定と種類・・・・・・・P46
12-5記録データの保存場所と日数・P52
12-6記録映像を再生する・・・・・P56
12-7手動で映像機記録する・・・・P58
12-8その他の設定・・・・・・・・P62

13.困ったときは ・・・・・・・・P65

保証書・・・・・・・・・・・裏表紙

1.安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に保管して下さい。

■絵表示について
この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。(左の例は感電注意)

禁止の行為であることを告げるものです。(左の例は分解禁止)

行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

免責事項
■本製品は、盗難防止器具・犯罪防止器具ではありません。本製品の動作の正常・異常にかかわらず、犯罪・事故が発生した場合の損害について当社は一切責任を負いません。
■製品の設置(取り付け・取り外しなど)により生じた建物等への損傷やその他の損害について、当社は一切責任を負いません。
■地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災・第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失・誤用・その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
■本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断・記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切責任を負いません。

警 告

水などがかからないようにしてください
■本製品の上に(花瓶・植木鉢・コップ)や水などの入った容器または金属物をおかないで下さい。こぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

分解・改造しないでください
■本機を分解・改造しないで下さい。事故・火災・感電の原因となります。

異常状態で使用しないでください

■発熱していたり煙がでている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。その際はすぐに使用を中止して下さい。
煙や臭いが出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼下さい。
お客様による修理は危険ですので絶対にしないで下さい。

この機器の取扱について

■表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。火災・感電の原因となります。
■本機や付属のケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりしないで下さい。
機器やケーブルが破損し火災・感電の原因となります。
■濡れた手で本製品に触れないで下さい。感電の原因となります。

異物が入った時は

■本製品を濡らさないようご注意ください。火災・感電の原因となります。
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意下さい。
■異物や水が本機内部に入った場合は、ACアダプターを抜いて、販売店にご連絡下さい。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意下さい。

落としたり、破損したときは

■本機を落としたりして、破損した場合は使用を中止し販売店にご連絡下さい。

注 意

設置場所について

■ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となることがあります。
■湿気やほこりの多い場所に置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。
■炎天下の車中等に放置しないで下さい。製品が加熱・変形・溶解することがあります。

この機器の取扱について

■本機に付属のケーブルをストーブ等の熱器具に近づけないで下さい。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
■ACアダプターを抜き差しする場合は、ケーブルを引っ張らないで下さい。
ケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ご使用にならないときは

■ご使用にならないときは、安全のためACアダプターと接続を行わないで下さい。

本機の上に重い物を置かないで下さい

■重い物を置くとバランスが崩れて、転倒・落下等でけがの原因となることがあります。

2.主な特長

AT-2510MCSは2．4GHz帯を利用した無線カメラセットです。
電波到達範囲内であればカメラと受信機の電源を入れるだけで映像と音声を無線で送受信することが可能です。
夜間撮影機能も可能で、カメラの増設（最大4台）にも対応します。

カメラ映像と音声を
ワイヤレスで送信！

夜間の撮影もバッチリ！
赤外線撮影　約4ｍ

電波法に準拠！
工事設計認証取得

受信機モニターで
その場ですぐに見れる！

ＰＣにつないで
付属ソフトで録画可能

現場状況を把握しやすい
音声マイク内蔵

3.パッケージ内容

製品のパッケージを開封されますと、下記の物が入っておりますので
ご使用前にご確認下さい。

①無線カメラ［AT－2511Tx］　×1
②受信機モニター［AT－2512MRx］×1
③カメラ取付け用ブラケット　×1
④モニタ壁掛け用ブラケット　×1
⑤AVケーブル（映像・音声）　×1
⑥ACアダプター（DC5V 1A）　×2
⑦USBケーブル　×1
⑧PC用ソフトウェア　×1
⑨取付けネジセット　×1
取扱説明書（本書）　×1
保証書（本書裏表紙）

※付属品の外観は予告無く変更される可能性がありますのでご了承下さい。

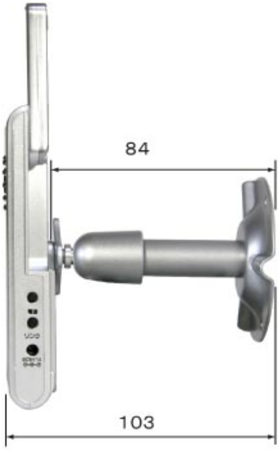
4.製品仕様

カメラ [AT-2511Tx]	センサ形式	1/4型 カラーCMOS
	有効画素数	30万画素(VGA)
	レンズ	4.3mm
	撮像方式	NTSC
	最低被写体照度	2LUX 赤外線撮影時は0LUX
	音声出力	○
	画角	水平:48° 垂直:37°
	保護等級	なし(非防水)
	赤外線投光距離	約4m(屋内使用時)
モニター受信機 [AT-2512 MRx]	映像出力解像度	640×480 Pixels (VGA)
	出力フレームレート (通信状況により可変)	通常時:最大10フレーム/秒 デジタルズーム時:最大30フレーム/秒
	出力端子 (付属ケーブル末端)	RCAピンプラグ(映像・音声) USB2.0 (タイプA)
	モニター	3.5インチ液晶
	カメラ受信数	最大4台
	スイッチャー機能	3段階 (OFF・5・10・15/秒)
	4分割機能	○
	ズーム機能	2倍デジタルズーム
	モニター調整	明るさ:15段階
	その他機能	50/60Hz切替え NTSC/PAL切替え
無線技術情報	使用周波数帯	2.4GHz帯 (2400.0MHz～2483.5MHz)
	変調方式	GFSK
	スペクトラム拡散	周波数ホッピング方式
	干渉制御	CCDS
	データレート	最大 2Mbps
	映像化方式	モーションJPEG
	バンド幅	2Mbpsモードで2MHz
	通信距離	見通し:最大150m
	工事設計認証番号	201 WW 08215371 201 WW 08215372
その他	動作温度範囲	-0～+45℃ (カメラ・受信機共に)
	消費電流(最大)	カメラ:400mA 受信機:400mA
	消費電力	カメラ:2W以下 受信機:2W以下
	電源・電圧	DC5V 1A (専用アダプター)
	外形寸法 (突起部を除く)	カメラ: 60(W)×115(H)×19(D)mm モニター:133(W)× 86(H)×27(D)mm
	質量	カメラ:約80g 受信機:約155g
	月々の電気代	約63円

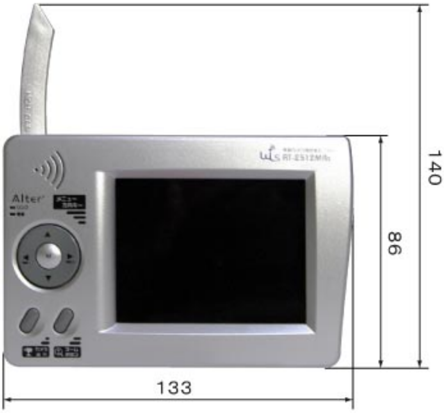
5.外形寸法図

外形寸法図は下記の通りです。取付け設置の際にご活用下さい。
※記載寸法は製品の実測値です。筐体の個体差やネジの締め具合で若干寸法が変わる場合あります。

●カメラ [AT-2511Tx]



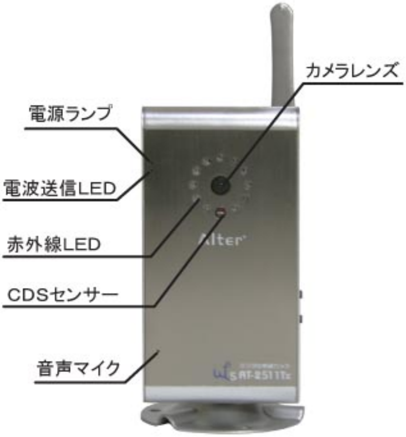
●受信機モニター [AT-2512MRx]



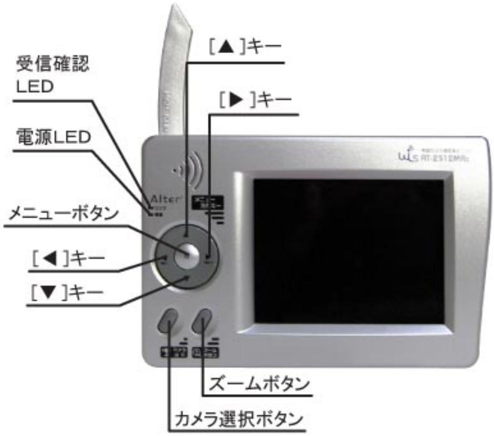
6.各部名称

製品の各部名称は下記のようになります。
本書では操作説明時の名称等で下記の名称が使用されております。

●カメラ [AT-2511Tx]



●受信機モニター [AT-2512MRx]



7.ご使用になる前に

本項目はお客様が本製品をご使用する際に必要な情報、注意点を記載しております。ご使用前に下記内容をよくお読みになり製品の特性や最適な設置環境等をご理解いただいてからご使用下さい。

本製品の無線技術について

当製品は2.4GHz帯を使用した[高度化小電力データ通信システム]で電波法に基づく基準認証を受け、総務省令で定められた[技適マーク]を取得しております。

工事設計認証番号

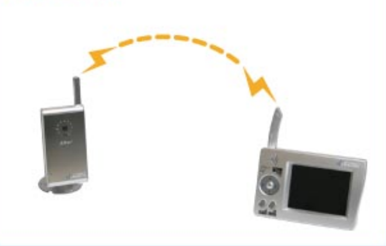
Ⓡ201 WW 08215371

Ⓡ201 WW 08215372

電波到達距離について

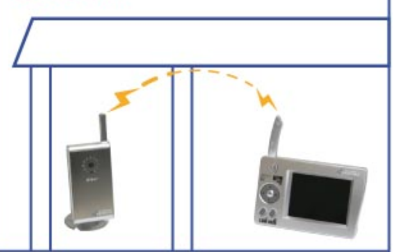
本製品に記載の電波到達距離は、当社が行った見通し環境でのテスト結果に基づいた動作確認距離となっております。実際に当製品を使用した場合、設置環境(送受信機間に存在する遮蔽物の有無・材質・大きさ・範囲など)や周囲状況(他の無線機器との相性など)によって電波の到達距離が著しく変化します。記載上の電波到達距離は目安であり、電波の飛びを保証するものではありませんので十分ご理解のうえご使用下さい。

見通し環境=遮蔽物の全く無い環境



遮蔽物が無い場合、電波が遮断されず電波到達距離が長い。

実際の環境=遮蔽物や障害物がある



遮蔽物(壁など)がある場合は電波が遮断され到達距離が短くなります。

防水性(保護等級)について

本機はカメラ・受信機共に防水保護は付いておりません。設置の際は水に濡れない場所、ホコリ振動の少ない場所へ設置してください。

防水保護無し

昼間撮影について

直射日光や強い光が当たる場所(逆光状態)や背景が白っぽい場所、では被写体の映像が映りにくくなります。
また周囲の明るさにより、撮影環境や被写体の材質によって実際目に見える色とは異なって映ることがあります。

実際の昼間撮影映像

被写体までの距離 約3.5m

蛍光灯下でのチラツキ(フリッカー)について

東日本地区では蛍光灯や水銀灯下でカメラをご使用になると、画面がちらついたり点滅する場合があります。
この現象をフリッカー現象といいます。
また夜間時や屋外使用時においても蛍光灯等がカメラの視野角の中に存在する場合、フリッカー現象が発生しやすくなります。

夜間(暗闇)撮影について

夜間撮影時はカメラから赤外線を投光し被写体が赤外線を受けることで映像の撮影が可能になります。
[AT-2511Tx]は約4m赤外線撮影が可能です。.
しかし、赤外線の投光範囲内に被写体が無い場合は何も映らない状態となります。
また、夜間は昼間の映像に比べてノイズが多く、被写体や周囲の明るさで映像品質が異なります。

実際の夜間撮影映像

被写体までの距離 約3.5m

8.カメラと受信機の設置

8-1カメラと受信機の接続

アンテナの取付けが終わりましたら、下記の図を参考にカメラ・受信機・モニターへの配線を行ってください。

配線が終わりましたら最後にそれぞれのACアダプターをコンセントに差し込んで電源を入れてください。電源を入れて電波が届く状態にあれば映像が映し出されます。
※表示されない場合はP29”10-2カメラの追加”を参照の上、設定(ペアリング)を行ってください。

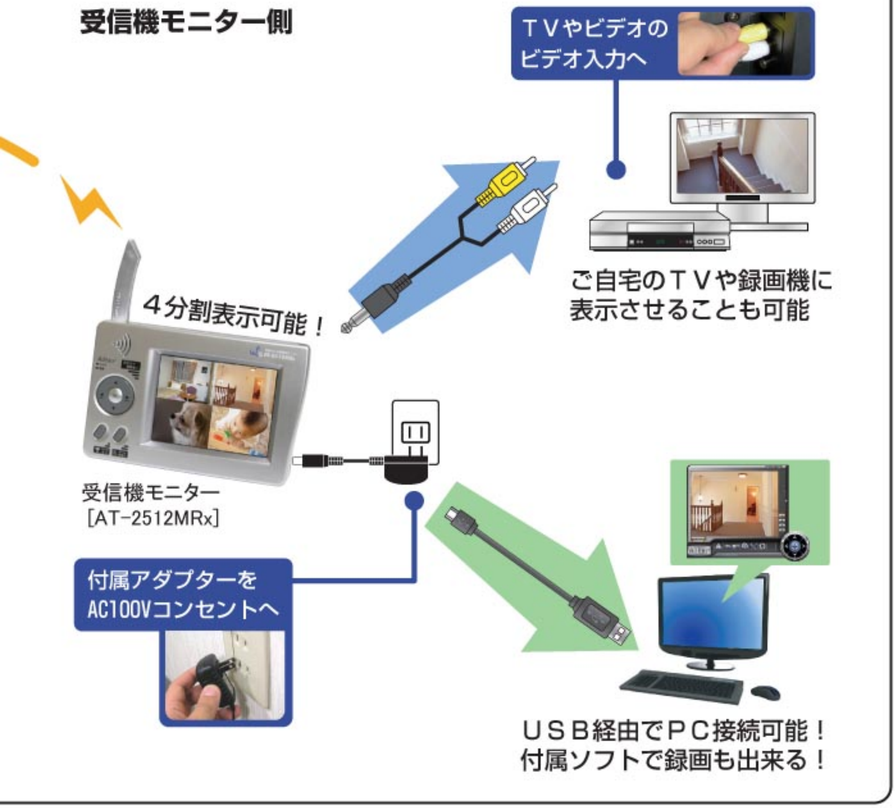
●設置イメージ

カメラ側

⚠ご注意！：配線前に必ず映像と電波状況の確認をしましょう！

設置後のトラブルをなくすためにパッケージを開封後、始めに無線映像の確認と電波受信の確認を行いましょう。その後、カメラの設置場所とモニター場所（受信機側）にそれぞれ製品を仮設置した状態で再び映像と電波受信の状況を確認してください。設置予定の場所で映像確認が出来た後、配線・取付けを行うことをオススメ致します。

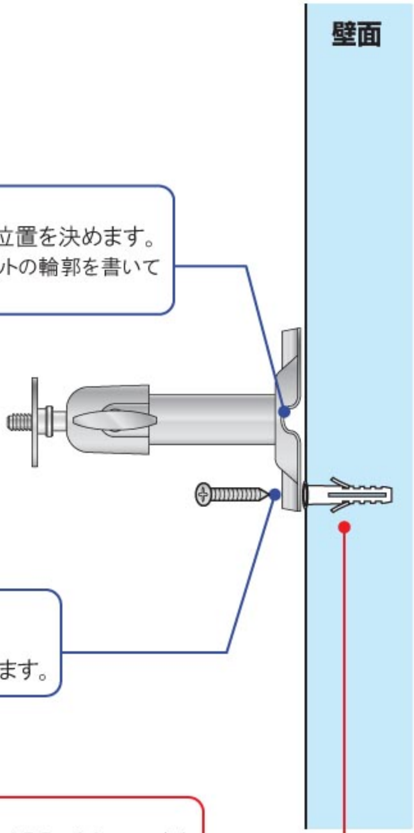
受信機モニター側



8-2カメラの取付け方

カメラの映像確認が出来たらカメラを取付けます。
下記の図を参考に正しく取付けてください。

●壁面への固定 ※本機は天井吊り状態での取付けはできません。



1.取付け場所の位置決め
ブラケットを壁面に押し当て、取付ける位置を決めます。
※位置を決めたら壁面にペン等でブラケットの輪郭を書いておくと設置がかんたんです

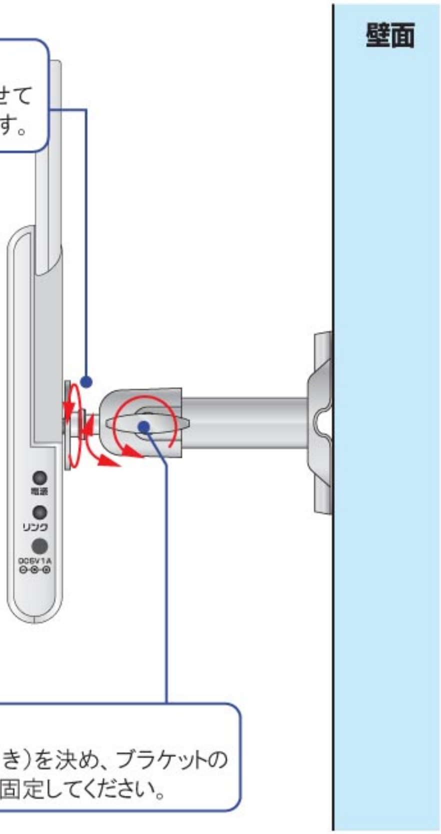
2.ドライバーを使ってネジ締め
付属の"取付けネジ"を使って
取付けブラケットを固定(3箇所)します。

コンクリートに取付ける場合
コンクリートの壁面に設置する際は、予め壁にφ5.5～6.0mmの穴を開けて付属の"コンクリートアンカー"を打ち込みます。

取付けブラケットを壁面に固定したら、ブラケットとカメラを取付けます。
下記の図を参考に正しく取付けてください。

●カメラとブラケットの取付け

1.カメラをブラケットに取付ける
カメラとブラケットのネジ穴をあわせて
ブラケット側のネジを回して固定します。



※ブラケット側のネジが回らない場合は
ブラケットのつまみを回して緩めてください。

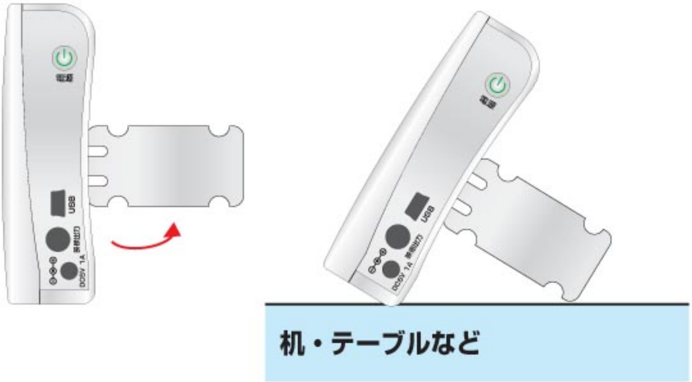
2.ブラケットのつまみを締めて固定
カメラを取付けたらカメラの角度（向き）を決め、ブラケットの
つまみを手で締めてカメラしっかりと固定してください。

8-3モニターの設置方法

モニターは"縦置き"と"壁掛け"2通りの設置方法があります。
下記の図を参考に設置してください。

●縦置き

モニター裏側中央にあるツメを起こして立てかけてください。



●壁掛け

モニター裏側中央にあるツメを閉じ付属の"壁掛け用金具"を取り付けてください。
取り付けた金具の穴2箇所と均等になるようにネジを壁に打ち込み、
金具をネジに引っ掛けます。

9.画面の見方と操作方法

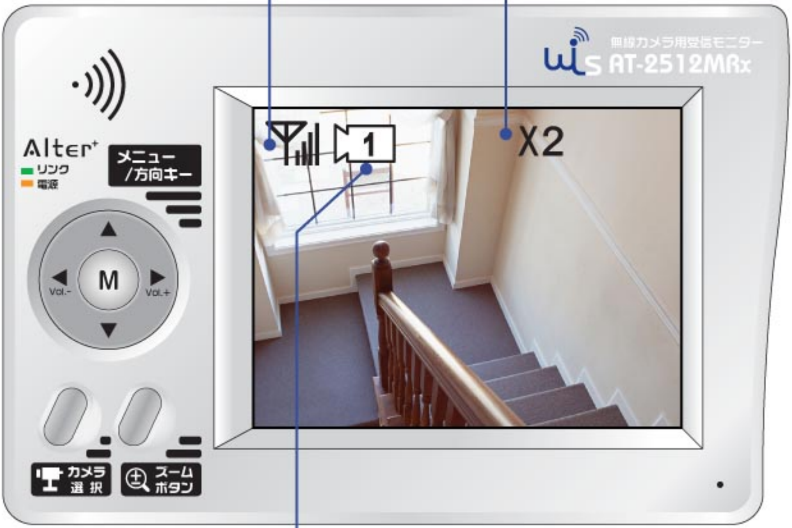
9-1画面の見方

カメラとモニター受信機の電源を入れ、電波到達が可能な距離であれば下記のような画面が表示されます。それぞれの画面表示は以下の役割があります。

※映像が表示され無い場合はP29”10- 2カメラの追加”を参照の上設定を行ってください。

電波レベル表示
現在の電波受信の状況が表示されます。
（電波レベルの詳細はP20を参照）

デジタルズーム表示
デジタルズーム時に表示されます。
（デジタルズームの方法はP21を参照）



カメラチャンネル表示
現在表示されているカメラチャンネルが表示されています。

1 =チャンネル１
2 =チャンネル２
3 =チャンネル３
4 =チャンネル４

9-2電波レベル表示

カメラ前面の”電波送信LED”と画面上に表示される”アンテナマーク”は現在の電波受信の状況を示しています。

●カメラ側の電波送信表示

カメラには電波到達の状況を確認できる”電波送信LED”が搭載されています。
電波の送信状況によってLEDの表示が変わりますので設置時にモニターを見なくても電波状況の確認が可能です。
※カメラ設置の際は、LEDが常時点灯する場所に設置してください。

カメラ前面

電波送信ＬＥＤ（緑色）
現在の電波状況を表示します。

点灯＝◎良好な接続

点滅＝△断続的な接続

消灯＝×接続していません

※カメラを複数台接続している場合
正しくペアリングしていて電波受信が良好な場合でもモニター上に映像を表示していないチャンネルの”電波送信LED”は消灯した状態になります。

●受信機側のＬＥＤ表示について

受信機前面に搭載されている”受信確認LED”は現在表示しているチャンネルの電波が受信できない場合に点灯します。

受信確認ＬＥＤ（緑色）
現在の電波状況を表示します。

点灯＝◎良好な接続

消灯＝×接続していません

受信機前面

●モニター画面のアンテナ表示

モニター上に表示されるアンテナマークは電波の受信状況（転送レート）に応じて表示が変化します。
それぞれ受信状況によって1秒あたりの画面コマ数（フレームレート）が変化します。
電波の受信状況と画面コマ数は下記表のような関係になっています。

アンテナマーク	データレート	フレーム/秒	
		通常画面	デジタルズーム
	1062～1280Kbps	5～10	15～30
	725～1062Kbps	3～5	12～20
	543～ 725Kbps	2～4	8～15
	250～ 543Kbps	0～1	0～4
	0～ 250Kbps	0	0

フレームレートとは？
1秒間にモニターに映し出される映像コマ数のことを"フレーム/秒"と言います。
数値が高ければスムーズで滑らかな映像が表示され、数値が低いとコマ送りになり"パラパラ漫画"のような表示になります。
※一般的な動画は30フレーム/秒で表示されています。

●"NO SIGNAL（接続されていません）" 表示

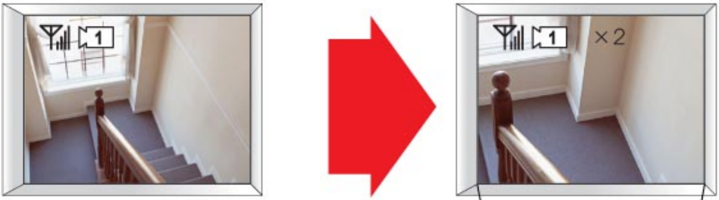
電波の受信が全く行われていない場合は、画面中央に"NO SIGNAL"と表示されます。

9-3拡大表示をする(デジタルズーム)

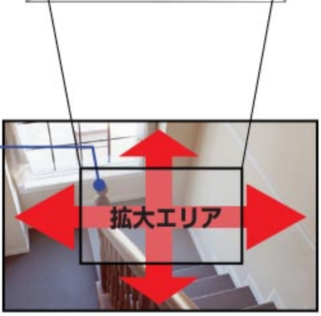
本機は受信機側のボタンを操作して"デジタルズーム"が行えます。
主な操作の流れは、下記のようになっています。

1.ズームボタンを押す
拡大表示したいチャンネルを表示して"ズームボタン"を押します。

2.画面が拡大表示されます



3.矢印カーソルで見たい範囲へ
受信機の矢印カーソルを押すと拡大エリアが移動します。



受信機の矢印カーソルを押すと拡大エリアが移動します

4.再びズームボタンで元のサイズに
終了する場合は再度"ズームボタン"を押すと元の画面に戻ります。

9-4音量の調整

カメラ[AT-2511Tx]には音声マイクが内蔵されており、カメラ設置場所周辺の音声を拾うことが出来ます。
音量の調整は下記の操作で行えます。

1.メニューボタンで
メニュー画面を開きます
受信機の"メニューボタン"を押すと画面上にメニューが表示されます。

メニュー画面

Audio Vol.	10
Scan Time	OFF
CAM1	ON
CAM2	ON
CAM3	ON
CAM4	ON
Pair CAM	1 2 3 4
System	Setup
Factory	Reset

2.左右キーで音量を調整します
メニュー画面一番上の"Audio Vol.(音量)"に"▲""▼"キーでカーソルを合わせ"◀""▶"キーで音量を調整します。

音量の数値

最小 ▁▂▃▄▅▆▇ **最大**
0 ～ 10 ～ 20

3.再度メニューボタンを
押して終了
設定が終了したら、再度受信機の"メニューボタン"を押して終了します。

※設置場所の音声は、カメラの向きや設置場所、周囲の騒音など環境によりうまく集音出来ない場合もございます。予めご了承下さい。

9-5モニターの明るさ設定

液晶モニターの映像が”明るすぎる””暗すぎる”場合はモニターの明るさを調整できます。明るさの調整は下記の操作で行えます。

**1.メニューボタンで
メニュー画面を開きます**

受信機の”メニューボタン”を押すと画面上にメニューが表示されます。

2.” System Setup” を選択します

”▲””▼”キーで”SystemSetup”にカーソルを移動させ”メニューボタン”で決定します。

メニュー画面

Audio Vol.	10
Scan Time	OFF
CAM1	ON
CAM2	ON
CAM3	ON
CAM4	ON
Pair CAM	1 2 3 4
System	Setup
Factory	Reset

**3.” Brightness” に合わせ
明るさを調整します**

”◀””▶”キーで数値を変更させると明るさが変化します。

0 15
8
暗 明

メニュー画面

Brightness	8	0 15
TV out	NTSC	
Power Save	OFF	
Frequency	50Hz	

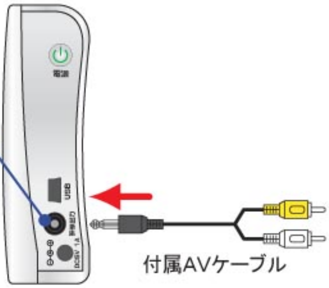
4.再度メニューボタンを押して終了

設定が終了したら、再度受信機の”メニューボタン”を押して終了します。

9-6映像の外部出力

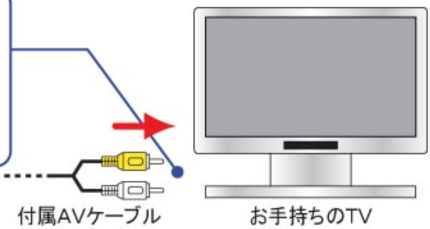
受信機モニターは外部のTV(モニター)に出力して大きな画面で見ることが出来ます。
外部出力を行う際は下記の操作で行えます。
また、外部出力時は受信機モニターの映像は表示されなくなります。

1.外部出力端子に付属の"AVケーブル"を接続します



2.接続した"AVケーブル"の反対側(黄・白)をお手持ちのTVのビデオ入力に接続します

詳細な表示方法は接続TVの入力切替え方法に従ってください



●映像が正しく表示されない場合

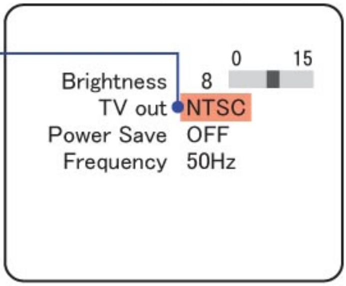
外部出力時にノイズ等で正しく表示がされない場合は一度モニター画面に戻し、
メニュー画面より"System Setup"を選択し"TV out"の設定が"NTSC"であるか確認してください。"NTSC"になっていない場合は"NTSC"に変更し再接続してください。

"NTSC"であるか確認します

"PAL"表示になっている場合は"◀""▶"キーで"NTSC"に変更してください。

※初期設定は"NTSC"になっていますので通常は変更する必要ありません。

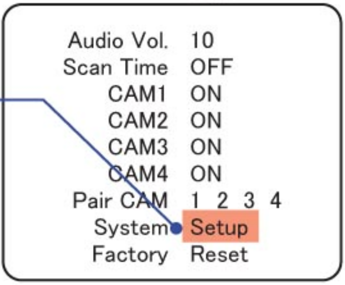
メニュー画面２



9-7省電力設定(スリープ)

受信機モニターは長時間画面を見る必要がないときのために一定時間経過すると画面を表示させない"省電力設定(スリープ)"が行えます。
設定は下記の手順で行えます。

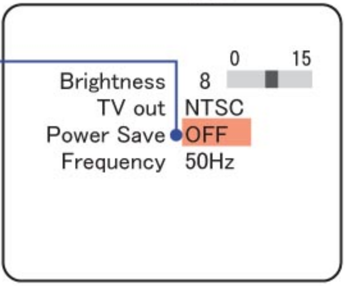
メニュー画面１



1.メニューボタンでメニュー画面を開き" System Setup" を選択します

"▲""▼"キーで"SystemSetup"にカーソルを移動させ"メニューボタン"で決定します。

メニュー画面２



３." PowerSave" に合わせ"ON/OFF"を切替えます。

"◀""▶"キーでAUTO/OFFを切替えます。
有効にする場合は"AUTO"に設定してください。

※初期設定は"OFF"になっています。

４.再度メニューボタンを押して終了

設定が終了したら、再度受信機の"メニューボタン"を押して終了します。

●省電力モードの動作について

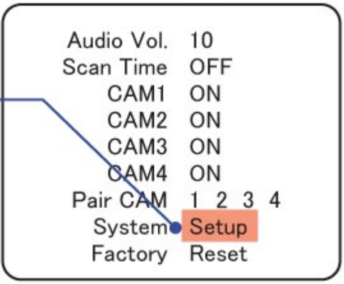
"省電力状態"へはモニター側の操作を何もしない状態で2分程度経過すると画面の表示が消え"省電力状態"へ切り替わります。
"省電力状態"では映像のみが非表示になり音声は有効状態になります。

"省電力状態"から復帰させる場合は"▲▼◀▶"キーまたは"メニューボタン"を押すと復帰します。

9-8画面のちらつき対策

お使いの場所が東日本地区の場合、撮影画面にチラツキが出る場合があります。
その際はモニター側でヘルツ(Hz)設定を変更する事により改善します。
設定は下記の手順で行います。

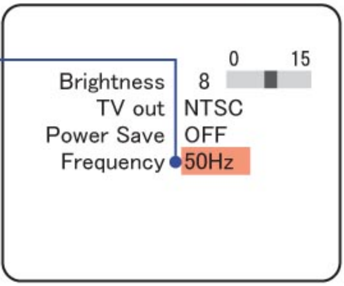
メニュー画面1



1.メニューボタンでメニュー画面を開き ” System Setup” を選択します

”▲””▼”キーで”SystemSetup”にカーソルを移動させ”メニューボタン”で決定します。

メニュー画面2



2.” Frequency” に合わせ ”50Hz/60Hz”を切替えます。

”◀””▶”キーで50Hz/60Hzを切替えます。
ご使用地域が
東日本地区の場合は”50Hz”
西日本地区の場合は”60Hz”
に設定してください。

※初期設定は”50Hz”になっています。

3.再度メニューボタンを押して終了

設定が終了したら、再度受信機の”メニューボタン”を押して終了します。

※ヘルツ調整を行っても撮影環境などの複合的な要因により画面のチラツキがうまく改善がされない場合があります。予めご了承下さい。

9-9工場出荷時の設定に戻す

設定を変更しすぎて再調整が出来なくなった場合など、工場出荷時(初期)の設定に全てを戻す事が出来ます。
工場出荷時の設定に戻す場合は下記の手順で行います。

1.メニューボタンで メニュー画面を開きます

受信機の"メニューボタン"を押すと画面上にメニューが表示されます。

メニュー画面1

Audio Vol.	10
Scan Time	OFF
CAM1	ON
CAM2	ON
CAM3	ON
CAM4	ON
Pair CAM	1 2 3 4
System	Setup
Factory	Reset

2." Factory Reset" にカーソルを あわせます

"▲""▼"キーで"Factory Reset"にカーソルを移動させます。

3.カメラ選択ボタンを押すと 工場出荷時の設定に戻ります

工場出荷時は下記の状態です。

Audio Vol.	5
Scan Time	OFF
CAM1	ON
CAM2	ON
CAM3	ON
CAM4	ON
Brightness	8
TV out	NTSC
Power Save	OFF
Frequency	50Hz

10.カメラの台数を増やして使う

10-1カメラを増設するには？

本機の受信機は1台で同じカメラ映像を最大で4台まで受信することが可能です。
カメラを増設するには専用の増設用カメラ[AT-2401Tx(屋外用)][AT-2511Tx(屋内用)]を別途お買い求め頂く必要がございます。
お求めの際は当製品をお買い上げの販売店にご注文いただくか弊社まで直接お問合わせ下さい。

増設用無線カメラ
AT-2401Tx

価格：オープンプライス
JAN：4560270960238

直接水に濡れない場所で
屋外設置が可能(IP54)

増設用無線カメラ
AT-2511Tx

価格：オープンプライス
JAN：4560270960238

手軽に増設できる屋内用カメラ

●増設イメージ

1

AT-2510MCS(本製品)
1台の受信機で最大4台まで受信可能です

増設カメラ
AT-2401Tx
AT-2511Tx

2

3

4

１０-２カメラの追加(ペアリング)

カメラの映像を追加受信するには下記の手順で行います。
登録済のカメラチャンネルを再設定する場合も同様の方法になります。

**1.メニューボタンで
メニュー画面を開きます**

受信機の"メニューボタン"を押すと画面上にメニューが表示されます。

2.受信機の"▲""▼"キーを操作して"Pair CAM(ペアカム)"の位置まで赤いカーソルを移動させます

メニュー画面

Audio Vol.	10
Scan Time	OFF
CAM1	ON
CAM2	ON
CAM3	ON
CAM4	ON
Pair CAM	1 2 3 4
System	Setup
Factory	Reset

3."◀""▶"キーで登録したいチャンネルの番号まで移動します

4.受信機の"カメラ選択ボタン"を押してカメラを受信するチャンネルを決定します。

メニュー画面

Audio Vol.	10
Scan Time	OFF
CAM1	ON
CAM2	ON
CAM3	ON
CAM4	ON
Pair CAM	1 2 3 4
System	Setup
Factory	Reset

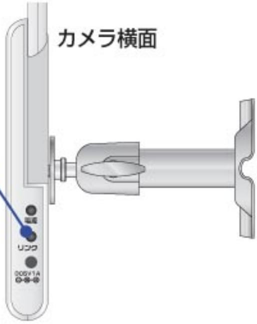
次ページへ

5.画面の表示が右図のように

（カメラ側の
ペアリングボタンを
押してください）

と表示され60秒間の
カウントが始まります

6.画面のカウントが始まったら
カメラ後面にある"ペアリングボタン"
を1回押してください



数秒ほどお待ち下さい

7.しばらくすると画面に
カメラ映像が表示されます。

※10秒ほど待っても映像が
出ない場合はP29からの
作業を再度行ってください。

カメラと受信機のペアリングはカメラ設置前に行ってください。
一度ペアリングしたカメラは電波到達内であれば設置場所を変えてもそのままお使いいただけます。

10-3カメラチャンネルを切替える

カメラを2台以上接続した場合、受信機のボタン操作でカメラチャンネルを切替えて表示することができます。
カメラチャンネルの切替え操作は通常画面から行います。

1.受信機モニターの"カメラ選択ボタン"を押すと表示チャンネルが切替わります。

カメラチャンネルは
ボタンを押すたびに

1 → 2 → 3 → 4

このように切替わります。

●不要なチャンネルを表示したくない場合

チャンネル切替時に表示したくないチャンネルがある場合は、P32"10-4カメラ表示のON/OFF"を参照の上、未使用チャンネルの表示/非表示を設定してください。

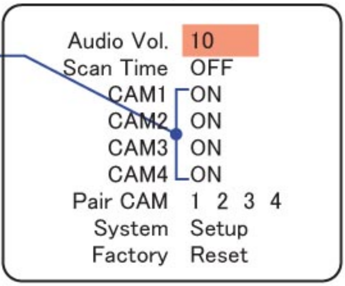
１０-４カメラ表示のＯＮ/ＯＦＦ

使用していないチャンネルを表示/非表示にする設定を行うことが出来ます。
カメラチャンネルのON/OFFはメニュー画面から行います。

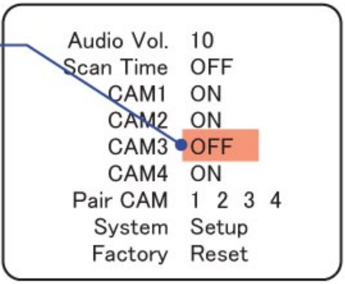
1.メニューボタンで
メニュー画面を開きます
受信機の”メニューボタン”を押すと画面上にメニューが表示されます。

メニュー画面

２.受信機の”▲””▼”キーを操作して変更したいカメラチャンネルの位置まで赤いカーソルを移動



３.”◀””▶”キーでＯＮ/ＯＦＦを切替えます



４.設定したら受信機の”メニューボタン”を押して画面を終了します

１０-５自動スイッチャー機能

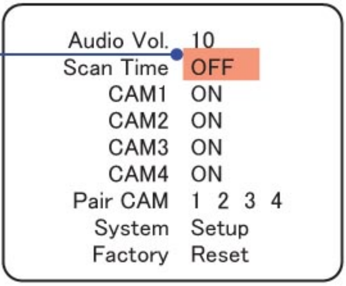
カメラを2台以上接続した場合、それぞれの画面を自動切替えさせて表示することが出来ます。複数のカメラ映像を巡回監視する際に有効です。
"自動スイッチャー"の設定はメニュー画面から行います。

**1.メニューボタンで
メニュー画面を開きます**

受信機の"メニューボタン"を押すと画面上にメニューが表示されます。

メニュー画面

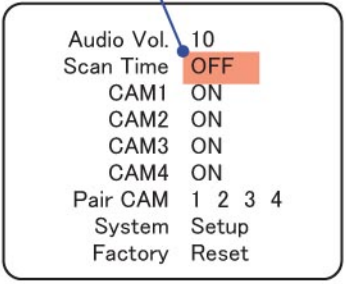
２.受信機の"▲""▼"キーを操作して"Scan Time(走査時間)"の位置まで赤いカーソルを移動



３."◀""▶"キーで切替え時間を選択します

切替え時間は
OFF/5/10/15(秒)の3段階
で設定可能です。

※"QUAD"は4分割表示機能です
詳細はP.34をご覧下さい。



４.設定したら受信機の"メニューボタン"を押して画面を終了します

"自動スイッチャー"を使用中に未使用のチャンネルが表示される場合は、P32の"10-4カメラ表示のON/OFF"を参照の上、未使用のチャンネルを非表示設定にしてください。

10-6 4分割表示

カメラを2台以上接続した場合、全ての画面を一度に表示する4分割の状態にすることが出来ます。複数のカメラ映像を同時に確認する際に有効です。
”4分割表示”の設定はメニュー画面から行います。

1.メニューボタンで
メニュー画面を開きます
受信機の”メニューボタン”を押すと画面上にメニューが表示されます。

メニュー画面

Audio Vol.	10
Scan Time	OFF
CAM1	ON
CAM2	ON
CAM3	ON
CAM4	ON
Pair CAM	1 2 3 4
System	Setup
Factory	Reset

2.受信機の”▲””▼”キーを操作して
”Scan Time(走査時間)”の位置
まで赤いカーソルを移動

3.”◀”キーを1回押すと
”QUAD”が選択されます

4.”QUAD”が選択されると
自動で4分割表示になります
元の表示に戻す場合は
”▲▼◀▶”キーを押すと対応するカメラCHを呼び出し通常の個別表示画面に戻ります。

”▲”＝カメラ1 ”▼”＝カメラ2
”▶”＝カメラ3 ”◀”＝カメラ4

※4分割表示中は
音声出力されません

１１.付属ＰＣソフトについて

１１-１付属のＰＣソフトについて

本機に付属のPC用ソフトウェア”ガードレコーディング”はＡＴ-2510MCSで受信したカメラ映像をお手持ちのPC上で確認できパソコンのHDDを利用して映像の録画を行えるソフトウェアです。

１１-２できる事とできない事

”ガードレコーディング”はお手持ちの　PCを利用して映像の記録が可能ですが録画に関する全ての機能を有しているわけではありません。
下記に”ガードレコーディング”を利用して”できる事”と”できない事”を記載させて頂きます。ソフトウェアの運用にお役立て下さい。

○できる事

- 2時間ごとのスケジュール設定
- 24時間常時録画（2時間区切り）
- モーション（動体検出）録画
- 動画保存
- 静止画保存
- カメラチャンネルの切替え
- 録画データの保存期間設定
- 記録データの保存先指定
- モーション時の警報音（PCより）
- カメラタイトル設定（カメラ毎）
- 日時表示のON/OFF

×できない事

- カメラ音声の出力・録音
- 複数チャンネルの同時録画
- 4分割表示と4分割状態での録画
- モーション検出のエリア設定
- 2時間以下のスケジュール設定
- 常時録画とモーション録画の併用
- モーション検出直前の映像記録
- 動画と静止画の同時記録
- 受信機モニタ-2台以上の接続・使用

また、上記以外に
”パソコンの電源を切った状態での使用”　”パソコンのスリープモード状態での動作”
”パソコン起動時の自動スタート”　等の動作も行えませんのでご了承下さい。

１１-３動作環境について

”ガードレコーディング”をご利用するにあたりお手持ちのパソコンが下記の動作条件を満たしているかご確認下さい。
下記の仕様に満たない場合、正しく動作しない恐れがあります。

対応OS	:	Windows XP　Windows Vista
CPU	:	Pentium3プロセッサ　1GHz以上
メモリ	:	256MB（512MB以上を推奨）
HDD	:	120MB以上※動・静止画の記録時はさらに必要です
USB	:	2.0

記載されている環境は最低動作環境です。
快適な動作をお求めの場合はより高性能のコンピュータをご使用下さい。

１１-４ソフトウェアのインストール

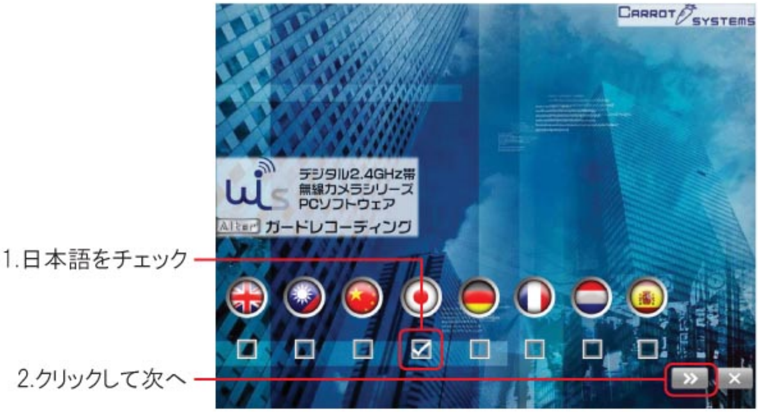
お手持ちのパソコンでAT-2510MCSを使用するためには付属のCDよりドライバとソフトウェアのインストールを行う必要があります。
インストールは下記の手順で行います。
※以下の手順は"Windows XP"でのインストールをもとに説明しています。
　"Windows Vista"でインストールする際も内容が大きく変わる事はありません。

■WindowsXP またはWindows Vistaを起動します。

■付属のCDをパソコンのCDドライブにセットします。

■自動的にCD-ROMが読みこまれ、ソフトウェアのインストール画面が立ち上がりますので言語を日本語に設定（国旗の下にチェック）して">>"をクリックしてください。

※自動的に立ち上がらない場合は、「スタートメニュー」→「マイコンピュータ」の順に開き、CDの入っているドライブをダブルクリックして起動してください。



■次の画面が表示されますので「>>」をクリックしてください。

クリックして次へ

■セットアップ言語が日本語に設定されていることを確認してOKをクリックしてください。

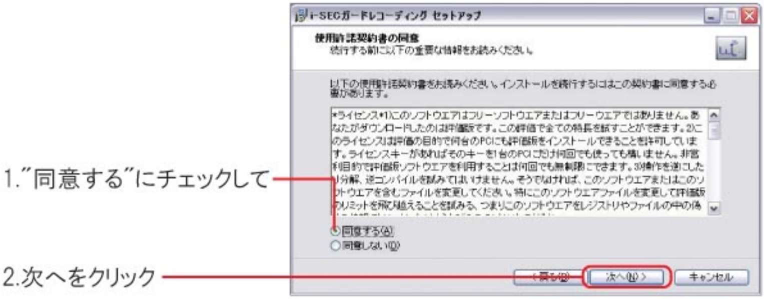
1.″Japanese″表示を確認して

2.クリックして次へ

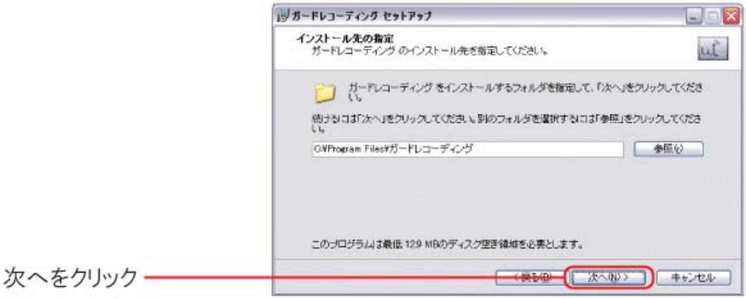
■セットアップの開始画面が表示されるので次へをクリックしてください。

次へをクリック

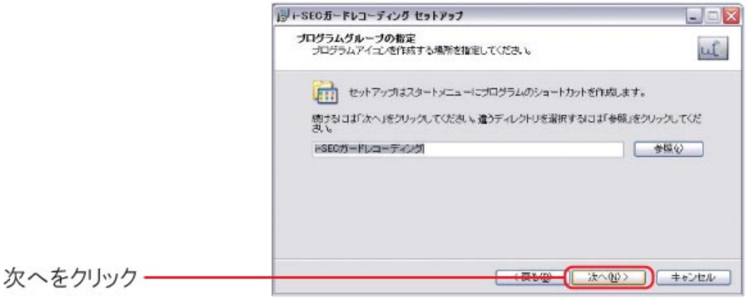
■ソフトウェアの使用許諾が表示されますので、内容をよくご確認の上、同意するを選択し次へをクリックしてください。



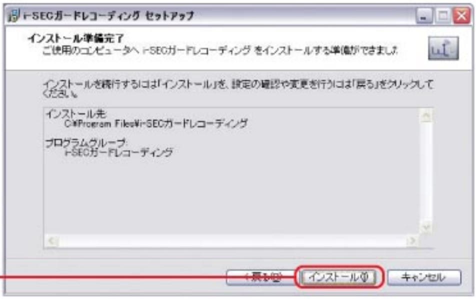
■インストール先を確認されますので、内容を確認して問題なければ次へをクリックしてください。※通常は何も変更せず”次へ”をクリックしてください。



■ショートカットの作成先を確認されますので、内容を確認して次へをクリックしてください。※通常は何も変更せず”次へ”をクリックしてください。



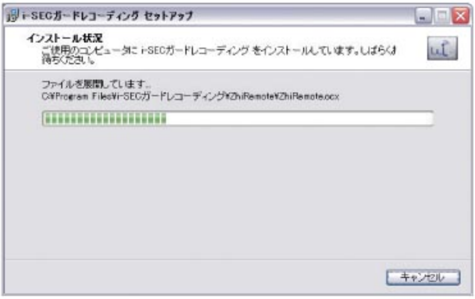
■インストールの準備が整い、インストール内容が表示されますので、確認の上インストールをクリックしてください。



”インストール”をクリック

■インストールが行われますので、終了までお待ちください。

ソフトがインストールされます



※警告が表示される場合がありますが、安全ですのでそのまま続行をクリックしてください。
※インストール中に他のアプリケーションを操作されますと正しくインストールが行われない場合がございます。

■インストールの終了画面が表示されたら、"完了"をクリックしてください。

■デスクトップ上に"ガードレコーディング"アイコンが表示されます。

■以上でソフトウェアのインストールは完了です。
インストール完了後は受信機モニターとパソコンの接続(ドライバの割当)を行います。

受信機モニターとパソコンの接続はP.42"11-5パソコンとモニターの接続"を参照の上設定を行ってください。

１１-５パソコンとモニターの接続

パソコンとの接続は下記の手順を参考に行ってください。
パソコン接続時はACアダプターを接続しなくてもUSBポートより電源が供給されます。

ご注意！

パソコンとの接続は付属のＣＤより”ガードレコーディング”のインストールを行ってから接続してください
インストール方法はＰ３７”11-4ソフトのインストール方法”を参照してください。

■下記図を参考にパソコンと受信機モニターの接続を行ってください。

※受信機モニターはパソコン接続時、USBより電源供給されるので、ACアダプターを使用しなくても起動します。

■お手持ちのパソコンと受信機モニターを接続するとデスクトップ画面の右下に下記のような表示が出ますのでそのまましばらくお待ち下さい。

■しばらくすると下記のように表示され使用可能になります。

■以上で設定は終了です。
インストールした”ガードコーディング”アイコンをダブルクリックするとソフトが起動します。

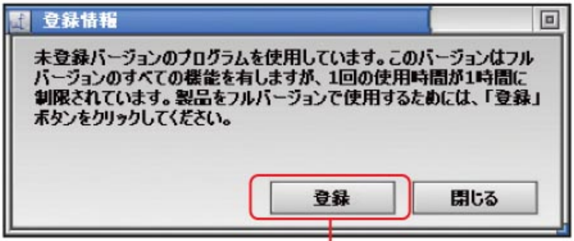
１２.付属ＰＣソフトの使い方

１２-１ソフトの起動

インストールが正常に行われた場合、デスクトップ上に”ガードレコーディング”のアイコンが表示されます。
ソフトウェアを起動する場合はこのアイコンをダブルクリックします。

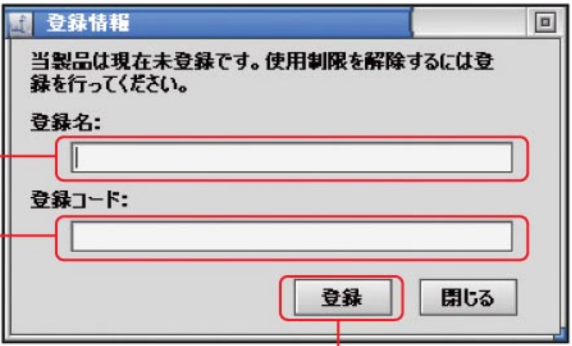
１２-２製品登録(シリアル登録)

初めてソフトウェアを起動すると下の画面が表示されますので下記の手順で製品登録を行ってください。



”登録”をクリックします。

付属CD-ROMのパッケージ表面に”登録名”と”登録コード”が記載されておりますので下記の位置に入力してください。



CD-ROMパッケージ表面記載の
”登録名”と”登録コード”を入力します。
※入力は半角英数字で行ってください。
大文字小文字ハイフンなども正しく入力してください。

入力したら”登録”をクリックします。

”登録名”と”登録コード”に誤りがなければ下記の画面が表示され登録が完了します。

１２-３操作画面の見方

ソフトウェアを起動すると下の画面が表示されます。ほとんどの操作はこの画面から行うことが出来ます。

電波レベル表示

ウィンドウボタン
画面の表示を切替えます
[□最小化 ＿タスクトレイ ×終了]

操作メニュー開閉ボタン
操作メニューの
表示/非表示を行います。

カメラボタン
カメラチャンネルを
切替えます。

ステータス表示
現在の状況が表示されます。

ズームボタン/方向ボタン
デジタルズームが
行えます。

警報音のON/OFF

各種設定ボタン

①セキュリティ設定	④イベントリスト
②ビデオキャプチャ	⑤ツール
③スナップショット	⑥情報

１２-４録画設定と種類

映像の記録を行う場合は下記の種類と方法が選択できます。
ご使用状況に合わせて設定、ご利用下さい。

●録画方法（24時間を2時間ごとに分けてスケジュール設定できます）

・常に映像を記録し続ける[常時録画]
・モーション検知時のみ記録する[モーション録画]

●録画形式

・1秒間に約2枚の静止画を記録[写真モード（.jpeg形式）]
・動画で保存[ビデオクリップモード（.avi形式）]

●記録サイズ

・640×480Pixel（大サイズ）
・320×240Pixel（小サイズ）

上記の内容を組み合わせて2時間ごとに[常時録画]と[モーション録画]を分けて録画設定する事もできます。※同時刻に両方の録画を行う事は出来ません。

録画設定の方法

●常時録画の場合

■通常画面より"セキュリティ設定"ボタンをクリックすると、右側に"操作メニュー"が表示されます。

"セキュリティ設定"
ボタンをクリック

操作メニューが
表示されます

■操作メニューから録画をクリックすると"録画方法""録画形式""記録サイズ"を設定する画面に切り替わります。

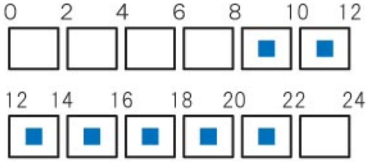
"録画"タブをクリック

設定画面に切り替わります

■"録画スジュール"欄の空白部分をクリックすると"■スケジュール(常時)">"●モーション"の順に表示が変わりますので録画したい時間帯に該当する録画方法を設定してください。

録画したい時間帯に
録画方法を設定

例:8:00～22:00まで常時録画する場合は下記のように設定してください。



■次に"カメラマーク"の部分をクリックして記録したいチャンネルを設定してください。
※カメラを複数台お使いの場合は録画したいカメラチャンネルを選択してください。
※複数のカメラチャンネルを同時に記録する事は出来ません。

録画するカメラチャンネルを選択します

■最後に録画の形式[写真(静止画)][ビデオクリップ(動画)]を選択し、
記録サイズ"640×480""320×240"を設定して"保存"ボタンをクリックします。

1."録画形式"を選択
※常時録画の場合"写真"形式で保存すると
ファイル数が膨大な数になってしまうので
"ビデオクリップ"を選択してお使い下さい。

2."記録サイズ"を選択
※2時間録画時のデータサイズ目安
[640×480 約200MB]
[320×240 約140MB]

3."保存"ボタンを押して設定完了

"保存"をクリックすることで設定が反映され録画が開始されます。
※時間帯ごとに通常録画とアラーム録画の設定を変更することが出来ます。

●モーション録画の場合

■予めP.44～46を参照の上、"録画スケジュール"画面で"モーション録画"したい時間帯を設定してください。
設定が終わったら、"モーション検出"タブをクリックします。

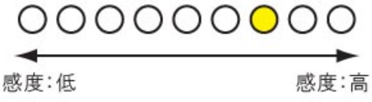
1.録画したい時間帯に"モーション"を設定し動作させるカメラチャンネルを設定します
※詳細はP44～47参照

2."保存"ボタンを押して設定完了

3."モーション検出"をクリック

■画面が変わりましたらモーション検出の感度設定を行います。

"モーション検出"の感度レベルを設定します。



"モーション検出"の感度は9段階で
下枠内の数値が大きいほど感度が上がります。

感度は初期設定状態でもお使い頂けますが、
設置場所に合わせて調節をお願いいたします。
※モーションの検出のエリア設定は出来ません。

■次に"アラーム鳴動時間(録画時間)"の設定を行います。

"アラーム鳴動時間"を設定します。

"アラーム鳴動時間"はモーション検出時の
映像記録とアラーム鳴動の時間です。

30秒以内に再度モーション検出した場合は
アラーム鳴動時間は延長されます。

■最後に"モーション検出時"の動作設定を行います。

"警報のみ"または"警報と録画"を選択します。

警報のみに設定した場合
アラームが設定秒鳴り続けます。

警報のみに設定した場合
アラームが設定秒鳴り続け、
映像記録を設定秒数行います。

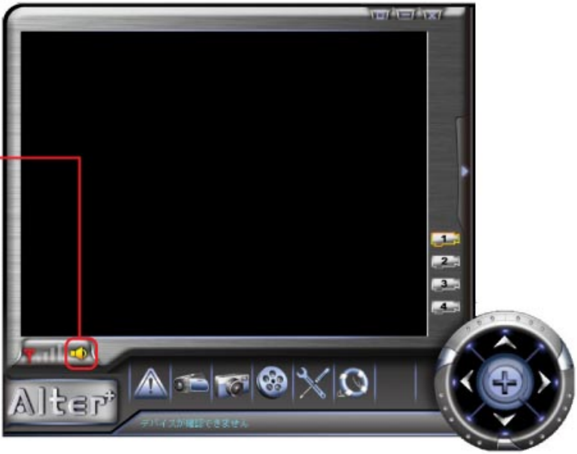
"保存"ボタンを押して設定完了

●録画のみでアラーム音を消したい場合

通常画面の下記の位置をクリックするとアラーム音のON/OFFを行えます。
モーション録画時にアラーム音を出したくない場合には下記の設定を行ってください。

警報音のON/OFF

クリックしてON/OFFを
切替えます。



１２-５記録データの保存場所と日数

記録した映像はパソコン内に保存されています。ソフト上から保存先（ディレクトリ）を変更したり、日数指定して記録データを自動削除する事が出来ます。

●初期設定の保存先（ディレクトリ）

初期設定では保存された映像は”マイドキュメント”内の”ガードコーディング”フォルダに設定されています。

ファイルパス
C:¥Documents and Settings¥ユーザー名¥My Documents¥ガードレコーディング

●保存先（ディレクトリ）を変更する

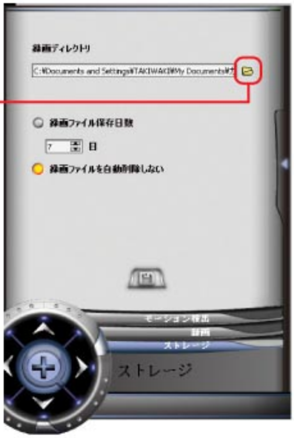
記録映像の保存先を変更するには下記の手順で行います。

■通常画面より”ツール”ボタンをクリックして、右側の”操作メニュー”より”ストレージ”をクリックしてください。

■"録画ディレクトリ"のフォルダマークをクリックすると保存先を指定するウインドウが表示されます。

操作メニューが
表示されます

"フォルダマーク"をクリックします。



■新しく保存先に指定したい場所を選択して"OK"を押してください。

保存場所を選択して

"OK"をクリックします。

"OK"ボタンが押せない場合、
選択した保存先は設定できない場所になっています。

■"録画ディレクトリ"欄のパスが変わり新しい保存先が設定されましたら"保存"ボタンを押して設定を保存します。

新しい保存先が設定されました。

"保存"ボタンを押して設定完了

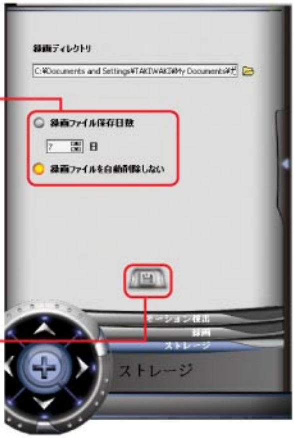
●記録データの保存日数

記録したデータをパソコン上に何日間保存しておくか設定する事が出来ます。
記録データはお使いのパソコンのHDDに保存されます。予め記録容量を計算の上ご使用のパソコンに合わせて設定してください。

"録画ファイル保存日数"にチェックを入れ白枠内に日数を設定します。

自動削除させない場合は
"録画ファイルを自動削除しない"に
チェックを入れて下さい。

"保存"ボタンを押して設定完了



●記録データサイズの目安

下記の表は記録データサイズの目安です。
録画データを保存する際にご参考下さい。

記録サイズ	320×240		640×480	
時間	1分	2時間	1分	2時間
動画[.avi]	約 1.5MB	約 140MB	約 2.0MB	約 144MB
静止画[.jpeg]	約 4.0MB	約 200MB	約 10.0MB	約 900MB

表の見方
1分　:モーション録画1回の参考値とお考え下さい。
2時間:常時録画の1区切りとお考え下さい。

※表中のデータサイズはテスト結果に基づく平均値です。
映像の内容によっては増減が発生します。録画時間の設定はゆとりを持って行ってください。
※静止画よりも動画データのほうが使用データ量が少ないという結果が出ています。
記録の際は動画記録をしていただく事をお勧めいたします。

１２-６記録映像を再生する

記録した映像を再生する場合は"イベントリスト"より行う事が出来ます。
"イベントリスト"では録画方法に関わらず保存されている全ての記録を見ることが可能で保存データの削除も行えます。再生の手順は以下のように行います。

■通常画面より"イベントリスト"ボタンをクリックすると、右側に"操作メニュー"が表示されます。

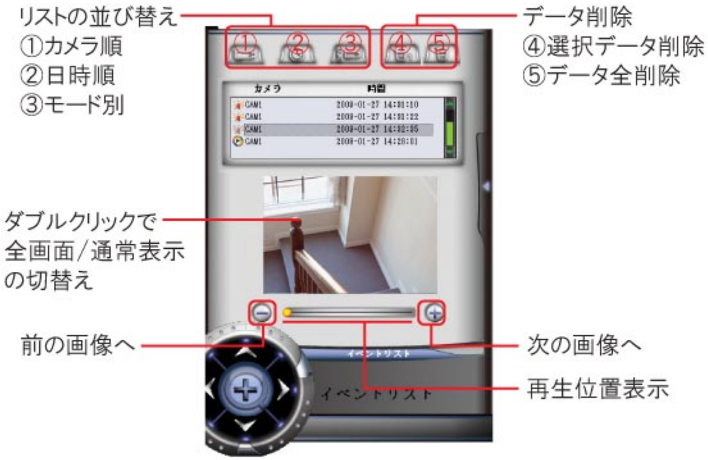
"イベントリスト"をクリック

操作メニューが表示されます

保存されているデータが表示されますので見たいデータをクリックすると再生が始まります。

■静止画再生時の操作

静止画の再生画面は下記のようになっています。



■動画再生時の操作

動画の再生画面は下記のようになっています。

12-7手動で映像記録する

現在の映像をすぐに記録したいときは手動で映像記録する事が出来ます。

●ビデオキャプチャ(動画撮影)

■通常画面より"ビデオキャプチャ"ボタンをクリックすると、右側に"操作メニュー"が表示されます。

"イベントリスト"をクリック

操作メニューが
表示されます

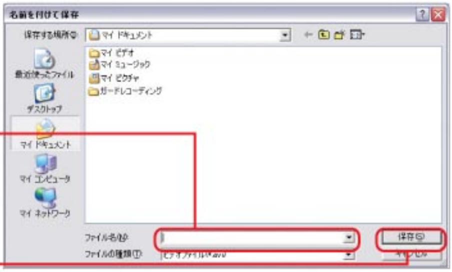
"●"ボタンを押すと録画が開始されます。

録画中は経過時間やデータサイズが
表示されます。

再度"●"ボタンを押すと録画が停止し
仮保存状態になります。

"保存"クリックして録画したデータを保存します。

■新しいウインドウが開きますので保存先とファイル名を指定して保存してください。



名前をつけてください。

"保存"を押して保存します。

動画の保存形式は[.avi]形式になります。

●スナップショット(静止画撮影)

■通常画面より"スナップショット"ボタンをクリックすると、右側に"操作メニュー"が表示されます。

"スナップショット"をクリック

操作メニューが表示されます

"キャプチャ"ボタンを押すと静止画が下のリストに仮保存されます。

リストから保存したいデータを選択して

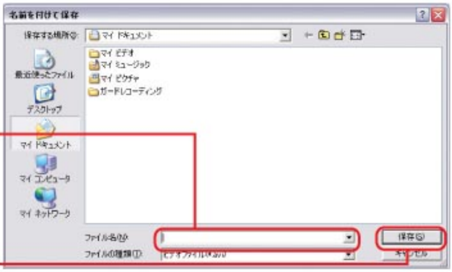
”保存”をクリックします。

静止画の保存形式は[.bmp]形式になります。

仮保存した静止画を一度に全て保存したい場合は
”すべて保存”をクリックします。

”印刷”をクリックするとリスト上で選択されている静止画を
PC上で設定されているプリンターから直接印刷する事が出来ます。

■新しいウインドウが開きますので保存先とファイル名を指定して保存してください。



名前をつけてください。

”保存”を押して保存します。

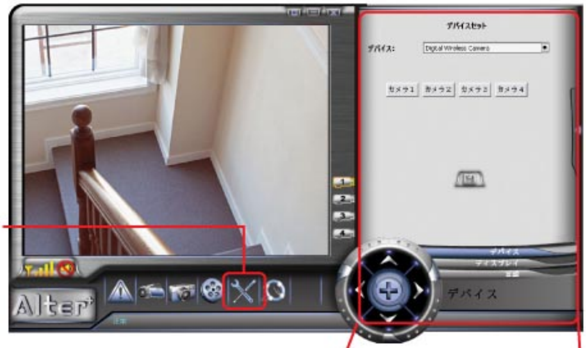
※全て保存をクリックした場合、保存先(ディレクトリ)を指定すると一括で保存されます。その際のファイル名はリストに表示されている名前がファイル名になります。

１２-８その他の設定

●デバイスセット

カメラのペアリングとUSBデバイスの設定が行えます。

■通常画面より"ツール"ボタンをクリックすると、右側に"操作メニュー"が表示されます。



"ツール"ボタンをクリック

操作メニューが
表示されます

現在のデバイスが表示されています。
※この項目は変更しないで下さい。

ボタンを押すとそれぞれのチャンネルで
ペアリングが行えます。

※ペアリングする場合は
ペアリングしたいチャンネルのボタンを押してから
カメラ本体のリンクボタンを押してください。

設定を保存する場合にクリックしてください。

●ディスプレイ表示

日時表示のON/OFF、カメラごとに名前をつけて表示する事が出来ます。

■通常画面より"ツール"ボタンをクリックして、右側の"操作メニュー"より"ディスプレイ"をクリックしてください。

"ツール"ボタンをクリック

"ディスプレイ"タブをクリック

操作メニューが
表示されます

チェックを入れた項目が
カメラ画面上に表示されます。

チャンネルごとにカメラ名を設定できます。

※設定したカメラ名はカメラ画面左上に表示されます。

変更したらクリックして設定を保存してください。

●言語設定

表示言語を変更する事が出来ます。

■通常画面より"ツール"ボタンをクリックして、右側の"操作メニュー"より"言語"をクリックしてください。

"ツール"ボタンをクリック

"言語"タブをクリック

操作メニューが
表示されます

クリックした言語に
設定が変更されます。

困ったときは

製品が正しく動作しない場合や操作方法がわからない時は下記の事例をご覧のうえ再度使用方法を確認して下さい。

●カメラ本体/モニター受信機に関する内容

■カメラ映像が受信モニターに表示されない

カメラ受信機の電源が入っていない、配線方法が正しくない
電波到達範囲内にカメラが無い、または正しくペアリングできていない。

上記いずれかの原因が考えられます。まずはP12”8-1.カメラと受信機の設置”をご参照の上配線、電源の供給が正しく行われているかご確認下さい。
その後P29”10-2カメラの追加”をご覧の上ペアリングを行ってください。
ペアリング出来ない場合はカメラの電波到達範囲内に受信機が無い場合があります。

■映像がコマ送りになる

カメラの映像は最大で１秒間／１０コマです。
電波受信の状況が悪い場合は１秒間／１～１０コマの間で変化します。

本機のカメラ映像は電波受信の状況が良い場合でも通常のカメラ映像より少しコマ送りになります。また、電波状況が良くない場合は1～10コマの間で最適なコマ数で表示します。
詳細についてはP20”●モニター画面のアンテナ表示”をご覧下さい。

■雨や雪が降ると受信状況が悪くなる

雨天や降雪時は電波の送受信状況が悪くなる場合があります。

雨天や降雪時は大気中に液体や固体が存在する状況になっています。
その為雨や雪が遮蔽物の役割をするため電波の受信状況が悪くなる場合があります。

■頻繁に受信状況が悪くなる

近隣に電波塔・工場・基地等が存在する場合、
電子レンジ等をご使用中の場合、飛行機が低空で飛ぶ環境下では、
受信状況に強く影響を及ぼすことがあります。
上記に該当する可能性がないか周囲環境を確認してください。

上記のような状況下では電波の受信状況が悪くなる場合があります。

■無線距離が１５０m以内なのに映らない

壁や天井などの遮蔽物や反射物がある場合は到達距離が短くなります。

無線の電波は遮蔽物(壁や天井など)を越えるたびにどんどん弱くなっていきます。
また遮蔽物の素材(木・鉄・コンクリートなど)によっても到達できる距離に差が出ます。
※150mの到達距離は弊社が行った遮蔽物の全く無い見通し環境でのテスト結果です。

■画面上に "No Connection" または "No Signal" と表示される

受信機が電波を受信できていない状況にあります。

無線の電波が届いていない状態またはカメラと受信機がペアリングされていない状態です。
カメラと受信機の距離を縮めて受信できるかの確認をしてください。映像の表示がされない場合はP29"10-2カメラの追加"をご覧の上ペアリングを行ってください。

■画面が止まったまま動かない

電波受信が途中で途切れてしまっています。

電波受信が途中で途切れてしまった場合、最後に受信した映像が静止画で表示されます。
しばらく待っても映像が回復しない場合はP29"10-2カメラの追加"をご覧の上再度ペアリングを行ってください。ペアリングできない場合やたびたび電波が途切れてしまう場合は設置場所を変更してみてください。

■音声が聞こえてこない

受信機側の音量またはＴＶの音量が小さくありませんか？

音量設定が小さい場合があります。P22"9-4音量の調整"をご参照の上、受信機側の音量調整を行ってください。またあわせてモニター側の音量もご確認下さい。
※音声は、カメラの向き、周囲の騒音状況等でうまく集音できない場合もございます。

また、４分割表示を行っている間は音声出力されません。

■夜間映像が何も映らない

赤外線の投光範囲内に被写体が無い場合は映像が映りません。

本機の赤外線投光距離は約4mです。
4m以内に被写体が無い場合は映像の撮影が出来ません。

■夜間雪が降ったような映像になる

空気中のチリやホコリが赤外線に反射して映っています。

空気中に無数にあるチリやホコリが赤外線に反射して撮像されています。
設置場所によっては比較的発生しやすい現象ですが故障ではありません。

■昼夜を問わず白黒映像になる

昼間でもカメラの設置場所が暗い場合は赤外線撮影になります。

カメラの周囲が暗い場合は自動的に赤外線撮影モードになり白黒映像になってしまう場合があります。その際はカメラの向きを微調整するなどしてレンズ周辺が明るくなるようにしてください。

■”カメラ選択ボタン”を押してもチャンネルが切替わらない
　または、表示したいカメラチャンネルが表示されない

他のカメラチャンネルが全てＯＦＦになっていませんか？

P32”10-4カメラ表示のON/OFF”を参照の上、カメラチャンネルのON/OFFを確認してください。チャンネル表示がOFFになっているとそのチャンネルは表示されません。表示したいチャンネルがある場合は設定を変更してください。

●ガードレコーディング(付属ソフト)に関する内容

■受信モニターがパソコンに正しく認識されない

同一の差込口で以前別のUSB機器を利用していた場合、
正しくドライバの割り当てが行われない場合がございます。

現在、差し込んでいるUSBポートを別の場所に変更してみてください。

■アプリケーションを起動しても映像が表示されない

カメラとのペアリングが正しく行われているか確認してください。

パソコンに接続した際に、一時的にカメラとのリンクが途切れてしまう事があります。
その際は再度、P29"10-2カメラの追加"をご覧の上再度ペアリングを行ってからUSB接続を行ってください。

また、カメラの電源が入っているか？を確認してください。

■録画が行われていない

アプリケーション起動時は、録画設定が行われていないので
セキュリティ設定より録画の設定を行ってください。

P46"12-4録画設定と種類"を参照の上、正しく録画設定を行ってください。※録画設定後に"保存"ボタンを押さなかった場合も設定が完了しておりませんので録画されません。

■録画データが突然消えてしまった

録画保存日数が過ぎたデータは自動的に削除されてしまいます。
自動削除の設定を変更してください。

録画データは一定期間を過ぎると自動的に削除されてしまいます。
P.54"●記録データの保存日数"を参照の上、設定を確認、変更してください。

■録画データがどこにあるのかわからない

ソフト内の"保存先"から直接参照することが可能です。
初期設定では、マイドキュメント→ガードレコーディング内に
保存されています。

P.52"初期設定の保存先"または"保存先を変更する"を参照の上ご確認下さい。
録画データの保存先は任意で好きな場所に設定する事も可能です。

■録画中にパソコンがフリーズしてしまった

録画データの保存先がいっぱいになっていないか確認してください。

映像データはデータサイズが大きいので、自動削除設定を行わずに長時間放置されますとハードディスク容量を上回る場合がございます。必要なデータのみ残し、不要なデータは削除するようにしてください。

■音声が出力されない

"ガードレコーディング"を使用した場合、音声出力されない仕様となっております。また、録画時も音声記録は行えません。

■４分割表示がされない

"ガードレコーディング"を使用した場合、４分割表示機能はご利用できません。

記載の事例に当てはまらない、症状が改善されない場合は大変お手数ですがお買い上げの販売店もしくは弊社（下記）までご連絡下さい。

●お電話でのお問合せ

042-775-2266 受付時間 平日　９：００～１７：００

●WEB SITEよりお問合わせ　「家庭用防犯カメラ」で検索！！

http://www.alterplus.jp

HP内のお問合わせフォームよりお問合わせ下さい。